

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）

太陽光・風力出力制御日数：7日

2026年度実績

[2026年4月17日現在]

[万kW]

通し番号		13		14		15		16	
出力制御内容	発信日	4月16日(木)17時頃 (前日指示)		4月17日(金)15時頃 (前日指示)					
	バイオマス・太陽光・風力出力制御期間	4月17日(金) 9時30分～14時30分		4月18日(土) 10時30分～14時30分					
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分		12時00分 ∩ 12時30分					
	バイオマス出力制御量 ^(注2)	5.2		4.3					
	太陽光・風力出力制御量	0※～16.5		—					
	予想需給状況	エリア需要 ^(注3) ①	304.4		280.3				
大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注4) ②		37.0		37.0					
連系線潮流 ^(注5) ③		32.3		8.3					
小計		373.7		325.6					
供給力 ^(注6) ④		395.4		329.9					
(再掲)バイオマス・太陽光・風力出力		(286.9)		(225.2)					
バイオマス・太陽光・風力出力制御必要量 ^(注7) ⑤ (⑤=④-①-②-③)		21.7		4.3					

(注1)実績(速報)は制御量最大となる時間帯

(注2)専焼および地域資源を対象とする

(注3)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注4)揚水発電所を最大限活用

(注5)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外へ送電(マイナスは本州エリアからの受電を指す)

(注6)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注7)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）

太陽光・風力出力制御日数：7日

2026年度実績

[2026年4月17日現在]

[万kW]

通し番号		9		10		11		12	
出力制御内容	発信日	4月11日(土)15時頃 (前日指示)	4月12日(日)実績 (速報)	4月12日(日)17時頃 (前日指示)	4月13日(月)実績 (速報)	4月13日(月)17時頃 (前日指示)	4月14日(火)実績 (速報)	4月14日(火)15時頃 (前日指示)	4月15日(水)実績 (速報)
	バイオマス・太陽光・風力出力制御期間	4月12日(日) 7時00分～17時00分	4月12日(日) 7時00分～16時00分	4月13日(月) 8時00分～16時00分	4月13日(月) 8時00分～15時30分	4月14日(火) 10時30分～14時30分	4月14日(火) 10時30分～14時30分	4月15日(水) 10時00分～13時00分	4月15日(水) 10時00分～12時30分
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	12時00分 S	12時00分 S	14時00分 S	10時00分 S	11時30分 S	11時30分 S	12時00分 S	10時30分 S
		12時30分	12時30分	14時30分	10時30分	12時00分	12時00分	12時30分	11時00分
	バイオマス出力制御量 ^(注2)	5.2	5.3	2.9	5.2	5.2	5.2	4.3	4.3
	太陽光・風力出力制御量	87.3※～133.6	28.0	0※～69.4	—	0※～36.4	—	—	—
予想需給状況	エリア需要 ^(注3) ①	264.9	307.6	305.9	380.8	319.5	348.8	307.5	365.2
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注4) ②	36.0	11.4	12.5	11.6	12.5	34.4	37.0	13.2
	連系線潮流 ^(注5) ③	▲ 21.5	▲ 21.4	▲ 21.4	▲ 25.6	24.2	▲ 2.1	▲ 7.8	4.8
	小計	279.4	297.6	297.0	366.8	356.2	381.1	336.7	383.2
	供給力 ^(注6) ④	418.2	330.9	369.3	372.0	397.8	386.3	341.0	387.5
	(再掲)バイオマス・太陽光・風力出力	(297.0)	(191.6)	(217.5)	(199.7)	(275.4)	(254.9)	(226.7)	(201.9)
	バイオマス・太陽光・風力出力制御必要量 ^(注7) ⑤ (⑤=④-①-②-③)	138.8	33.3	72.3	5.2	41.6	5.2	4.3	4.3

(注1)実績（速報）は制御量最大となる時間帯

(注2)専焼および地域資源を対象とする

(注3)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注4)揚水発電所を最大限活用

(注5)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外へ送電（マイナスは本州エリアからの受電を指す）

(注6)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注7)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）

太陽光・風力出力制御日数：7日

2026年度実績

[2026年4月17日現在]

[万kW]

通し番号		5		6		7		8	
出力制御内容	発信日	4月5日(日)15時頃 (前日指示)	4月6日(月)実績 (速報)	4月7日(火)17時頃 (前日指示)	4月8日(水)実績 (速報)	4月8日(水)16時頃 (前日指示)	4月9日(木)実績 (速報)	4月10日(金)17時頃 (前日指示)	4月11日(土)実績 (速報)
	バイオマス・太陽光・風力出力制御期間	4月6日(月) 9時00分～14時30分	4月6日(月) 9時00分～14時00分	4月8日(水) 8時00分～16時00分	4月8日(水) 8時00分～16時00分	4月9日(木) 8時30分～14時30分	4月9日(木) 8時30分～14時30分	4月11日(土) 8時00分～16時00分	4月11日(土) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	12時00分 S	12時30分 S	12時00分 S	12時00分 S	12時00分 S	10時30分 S	12時00分 S	12時00分 S
	バイオマス出力制御量 ^(注2)	5.2	3.6	5.2	5.2	5.2	5.2	3.0	3.0
	太陽光・風力出力制御量	0※～17.6	—	37※～46.4	36.2	0※～50.4	41.2	18.9※～77.4	16.8
	予想需給状況	エリア需要 ^(注3) ①	305.8	301.6	317.7	336.8	302.9	354.6	284.1
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注4) ②	36.0	35.0	36.0	34.6	36.0	30.4	36.0	34.0
	連系線潮流 ^(注5) ③	▲ 9.1	▲ 29.0	30.4	3.3	32.2	13.4	▲ 20.3	▲ 20.3
	小計	332.7	307.6	384.1	374.7	371.1	398.4	299.8	331.3
	供給力 ^(注6) ④	355.5	311.2	435.7	416.1	426.7	444.8	380.2	351.1
	(再掲)バイオマス・太陽光・風力出力	(244.4)	(200.8)	(318.4)	(297.9)	(297.1)	(322.5)	(271.5)	(221.2)
	バイオマス・太陽光・風力出力制御必要量 ^(注7) ⑤ (⑤=④-①-②-③)	22.8	3.6	51.6	41.4	55.6	46.4	80.4	19.8

(注1)実績(速報)は制御量最大となる時間帯

(注2)専焼および地域資源を対象とする

(注3)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注4)揚水発電所を最大限活用

(注5)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外へ送電(マイナスは本州エリアからの受電を指す)

(注6)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注7)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）

太陽光・風力出力制御日数：7日

2026年度実績

[2026年4月17日現在]

[万kW]

通し番号		1		2		3		4	
出力制御内容	発信日	3月31日(火)17時頃 (前日指示)	4月1日(水)実績 (速報)	4月2日(木)17時頃 (前日指示)	4月3日(金)実績 (速報)	4月3日(金)17時頃 (前日指示)	4月4日(土)実績 (速報)	4月4日(土)17時頃 (前日指示)	4月5日(日)実績 (速報)
	バイオマス・太陽光・風力出力制御期間	4月1日(水) 10時30分～13時00分	4月1日(水) 9時30分～13時00分	4月3日(金) 10時00分～14時00分	4月3日(金) 9時00分～15時39分	4月4日(土) 8時00分～13時00分	4月4日(土) 8時00分～12時30分	4月5日(日) 8時30分～16時00分	4月5日(日) 8時30分～15時30分
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	12時00分 S	10時30分 S	11時30分 S	11時30分 S	10時30分 S	8時00分 S	11時00分 S	13時00分 S
		12時30分	11時00分	12時00分	12時00分	11時00分	8時30分	11時30分	13時30分
	バイオマス出力制御量 ^(注2)	5.3	5.2	5.4	5.2	5.3	5.2	5.3	3.1
	太陽光・風力出力制御量	0※～17.5	22.0	0※～16.5	5.1	0※～7.6	—	0※～61.6	15.0
予想需給状況	エリア需要 ^(注3) ①	322.6	349.8	329.3	346.2	285.8	301.4	270.6	281.2
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注4) ②	35.8	30.4	36.0	33.6	36.0	17.8	36.0	31.4
	連系線潮流 ^(注5) ③	▲ 6.4	5.7	▲ 9.1	▲ 22.6	51.8	24.7	▲ 15.4	▲ 14.3
	小計	352.0	385.9	356.2	357.2	373.6	343.9	291.2	298.3
	供給力 ^(注6) ④	374.8	413.1	378.1	367.5	386.5	349.1	358.1	316.4
	(再掲)バイオマス・太陽光・風力出力	(259.7)	(251.7)	(273.2)	(255.7)	(280.3)	(201.2)	(262.9)	(211.8)
	バイオマス・太陽光・風力出力制御必要量 ^(注7) ⑤ (⑤=④-①-②-③)	22.8	27.2	21.9	10.3	12.9	5.2	66.9	18.1

(注1)実績（速報）は制御量最大となる時間帯

(注2)専焼および地域資源を対象とする

(注3)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注4)揚水発電所を最大限活用

(注5)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外へ送電（マイナスは本州エリアからの受電を指す）

(注6)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注7)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応